

# ニューガーデンバッグⅡ 腐葉土の作り方

タヒロン

腐葉土は微生物によって分解されて出来るので適度な水分と通気性（空気）が必要です。タヒロン・ニューガーデンバッグは通気性のよいメッシュ状なので、腐葉土作りに最適です。材料・条件により異なりますが、半年から1年でできます。

## ① ニューガーデンバッグⅡ に落ち葉・雑草・枯れ草を詰め込みます。

注意

この時、水を同時に  
入れて中まで充分に  
湿らせて下さい。



落ち葉を回収する時にビニール袋などに一旦入れた場合は、その中に水を入れて、落ち葉をジャブジャブに濡らしてもよいでしょう。

## ② 軽く押し固めてください。



押し固めることによって内部の隙間を無くし、乾燥を防ぎます。

※土を適量、まんべんなく混ぜると土壌菌・腐朽菌の活動に効果的です。

## ③ 後は土の上に置くだけでOK！乾燥に注意し、常に湿った状態にしてください。

※雨にあたる場所に置くことによって、自然と加水されますので効果的です。



注意

日当たりと腐葉土化は直接関係ありませんが、日当たりが良すぎると、落ち葉が乾燥し、悪ずきると、ヤスデやダンゴムシの発生につながります。できれば雨ざらしの場所に置いてください。

## ④ 落ち葉・雑草・枯れ草を後からどんどん追加してもOK！

できあがった腐葉土は、ニューガーデンバッグⅡをひっくり返し、反対側のファスナーを開いて取り出してください。



## 使用上の注意

※安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- ・水分量の多い生ゴミは腐敗の原因となりますので使用しないでください。
- ・火の近くに置かないでください。
- ・ファスナーに土がついて動きにくい場合は、水で洗い流してから使用してください。

※ 規格・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

タヒロン®



タヒロン®

TANAKA SANGYO  
田中産業株式会社

本社 〒561-0817 大阪府豊中市浜1丁目26-21  
電話 (06) 6332-7185  
FAX (06) 6336-2623  
ホームページ/ <http://www.tanakasangyo.com>

TANAKA SANGYO  
田中産業株式会社

# タヒロン® 静置型

タヒロン® は、落ち葉や雑草などを発酵して腐植を作り、腐葉土化しそれを土に還すことを目的にしています。

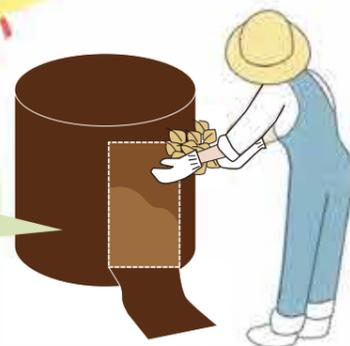


タヒロン®による腐葉土化の特色は次のとおりです

- ストックヤードが小さくてすみます
- 臭気の発生がありません
- 入れたままで切り返しは不要です

## ここが新しい

吊り下げ不要。本体横ファスナーから簡単に腐葉土を取り出せます。



特許第1714655号 実用新案登録第3167131号

# ニューガーデンバッグⅡ

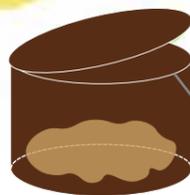
落ち葉または枯れ草等の場合

- タヒロン®ニューガーデンバッグⅡには水をかけながら入れます
- 水は多すぎても問題ありません
- 入れたままで切り返しは不要です
- 減容した分を追加詰め込みできます
- 発酵促進剤や微生物資材の添加、混合は不要です
- 土に還るまでの日数は、時期にもよりますが、半年から1年です



## ここが新しい

上下にファスナーが付いて、下からも腐葉土を取り出すことができます。



ファスナー

特許第1714655号

落ち葉・雑草・枯れ草を入れるだけ

詰め込み中



半年～一年後

※時期によって異なります。



## タヒロン® 静置型

直径(φ)	1100mm
高さ	1150mm
容量	約1.0m <sup>3</sup>
材質	ポリエステルフィラメントを塩化ビニール樹脂加工
排出口	横排出・ファスナー付(下排出なし)
付属品	ロッドA、蛇腹ホースセット
耐用年数	5年以上

## ニューガーデンバッグⅡ

	M	L
直径(φ)	500mm	600mm
高さ	470mm	570mm
容量	92リットル	161リットル
材質	ポリエステルフィラメントを塩化ビニール樹脂加工	
耐用年数	5年以上	

## 注意

必ず押さえてロックを開閉すること

ロックを開閉するときバッグがとび出す恐れがあります。注意してください。



ロック部分

排出口がD環仕様で吊り下げタイプもあります。



## 自立型タヒロン

直径(φ)	1100mm
高さ	1150mm
容量	約1.0m <sup>3</sup>
材質	ポリエステルフィラメントを塩化ビニール樹脂加工
排出口	全開菊割り8枚・D環仕様
オプション	ロッドA、蛇腹ホースセット
耐用年数	5年以上



## 【腐植の場合】

- ①落ち葉・雑草・枯れ草などをガーデンバッグに詰め込みます。
- ②全体に行き渡るように、しっかりと水を入れます。
- ③あとは、ガーデンバッグを土の上に置くだけです。

## 【発酵の場合】

- ①落ち葉・雑草・枯れ草などをガーデンバッグに詰め込みます。
- ②雑草を入れる場合は、高温発酵させて雑草の種子を死滅させるために、ヌカや畜糞堆肥を入れます。
- ③全体に行き渡るように、しっかりと水を入れます。
- ④あとは、ガーデンバッグを土の上に置くだけです。